

第3回横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	平成24年 8月27日 (月) 午前9時15分～午後4時15分
開催場所	緑区役所 3階特別会議室
出席者 (敬称略)	井上俊之助、岸本凌幾、永井直実、名和田是彦、間瀬勝一 (50音順)
欠席者 (敬称略)	無し
開催形態	一部非公開 (傍聴者1人)
議 題	1 指定管理者応募書類審査及び面接審査 2 指定候補者及び次点候補者の決定についての調査審議 3 その他
決定事項	<p>1 第3回委員会の一部非公開の確認について 第1回委員会で決定したとおり、団体の面接審査 (プレゼンテーション及び質疑応答) は公開とし、応募団体に対する評価の審議に係る意見交換部分と、委員会としての指定候補者及び次点候補者の決定の審議部分に関しては、公平性を担保するため非公開とする。</p> <p>2 面接審査の順番について 団体の面接審査の順番は、予備審査通過団体6団体によるくじ引きを事前に実施し、「株式会社スペースネットワーク」、「神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体」、「京急グループ共同企業体」、「横浜アーチスト共同事業体」、「JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体」、「みどりアートコミュニティ」の順とする。</p> <p>3 指定候補者及び次点候補者について 応募書類審査及び面接審査の結果、委員会としての指定候補者及び次点候補者は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定候補者 みどりアートコミュニティ ・次点候補者 京急グループ共同企業体
議 事	<p>1 指定管理者応募書類審査及び面接審査</p> <p>(1) 第3回委員会の一部非公開の確認について (名和田委員長) 第1回委員会で決定したとおり、公平性を担保するため、応募団体の面接審査 (プレゼンテーション及び質疑応答) を公開とし、応募団体に対する評価の審議に係る意見交換部分と、委員会としての指定候補者及び次点候補者の決定の審議部分に関しては、公平性を担保するため非公開としたいがどうか。</p> <p>(各委員) 異議なし。</p> <p>(2) 面接審査の順番について (事務局より報告) 予備審査通過団体6団体によるくじ引きを事前に実施し、面接審査の順番は、「株式会社スペースネットワーク」、「神奈川共立・東急コミュニ</p>

ティー・土志田建設共同事業体」、「京急グループ共同企業体」、「横浜アーティスト共同事業体」、「JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体」、「みどりアートコミュニティ」の順とする。

(3) その他（事務局より報告）

第2回委員会で確認中となっていた指定管理者応募6団体の市税等の滞納状況については、滞納の事実はないことを確認。

(4) 緑区民文化センター指定管理者応募書類審査及び面接審査について

ア 株式会社スペースネットワーク

団体から、団体概要及び事業計画等について説明

・ 質疑応答

(井上委員)

緑区の地形や特徴を踏まえ、近隣の区民文化センター等文化施設との差別化についてどのように考えているのか。

(株式会社スペースネットワーク)

緑区は港北区、都筑区、青葉区に隣接し、横浜線沿線ということで、東神奈川のホールと連携を考えていきたい。また、緑の多い土地ということで、緑や水に関連した絵画展や写真展などを行っていきたい。

青葉区にあるアートフォーラムあざみ野やフィリアホールとは、運営委員会を組織して、定期的に連携を図っていきたい。

(間瀬委員)

デジタルマガジンの提案はどこでもやっている内容だと思うが、パソコンを使用しない人向けの他の広報手段は何か考えているか。

アウトリーチ活動の展開に関して、提案における人員配置数で実現できるのか。

開館時間に関して、予約・支払い手続きを18時に終了するようだが、相談機能はどうするのか。

(株式会社スペースネットワーク)

広報手段は、ホームページの他にパンフレット、チラシ等、紙を使った広報も重要であると考えている。デジタルマガジンに関しては、希望者にCD-ROMでも渡すなど積極的な展開を考えている。

アウトリーチ活動を、提案の人員配置で行うことは確かに難しいが、企画や制作など本社スタッフ等のバックアップにより実施していきたい。

金銭の収受を伴う業務は、18時で終了とし、他の利用がない時のみ閉館とすることを考えている。

(永井委員)

[平成21年度9月期と22年9月期の決算について質疑応答]

(岸本委員)

ギャラリーに関して、来場者を増やすような企画は何か考えているのか。

また、施設の安全管理について、どのように考えているのか。

(株式会社スペースネットワーク)

ギャラリーは、地域や横浜美術大学との連携を考え、例えば歴代卒業作品の展示や、他都市で実績のある文化団体を一堂に会した、文化祭的な事業を展開していきたいと考える。

安全管理に関しては、日常点検をしっかりと行っていきたい。震災等の発生時には、まず施設の安全を保ち、利用者の安全を保った上で行政からの指示に基づき対応していきたい。

(名和田委員長)

アウトリーチ活動を平成28年度から展開するなど、文化事業を段階的に実施していく提案に、待ちの姿勢を感じるがどうか。

また、収支予算書の「その他収入」でかなり大きな金額を計上しているが、どのような積算なのか。

(株式会社スペースネットワーク)

アウトリーチ活動は初年度から取り組むが、形になるのは3年後と考え、平成28年度からの展開としている。

「その他収入」は、アートカフェや、自動販売機手数料収入、チケット受託販売手数料収入等を計上している。アートカフェについては、他都市での実績を参考に計上している。

イ 神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体
団体から、団体概要及び事業計画等について説明

・ 質疑応答

(岸本委員)

近隣にはフィリアホールもある中で、緑区民文化センターにどのような独自性を持たせるのか。また、緑区の特性を活かした他の区にはない企画を何か考えているか。

(神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体)

フィリアホールは音楽専門のホールでありギャラリーもない。緑区民文化センターの多目的ホール等の特性を活かした運営を行っていきたい。

また、地域のネットワークを活かした事業展開や、緑区の特徴である緑や自然を活かした事業も考えていきたい。

(井上委員)

施設の運営にあたって、地域との関わり合いをどのように考

えているのか。

その他、緑区の文化、芸術、伝統芸能について知っている内容を教えてほしい。

(神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体)

現段階では、あまり深い知識がないため、指定管理者として運営を行っていく中で知識を深めていきたい。また、地元の土志田建設が構成団体として入っているの、地域の情報収集を図り、吸収していきたいと考えている。

(間瀬委員)

館長や舞台スタッフは、長年在籍しないと地域に根づいていないと考えるが、指定期間中のスタッフの配置換えについてどのように考えているか。

(神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体)

現時点では、提案書に記載している館長予定者を館長とし、各責任者に関しては、変更の可能性があると考えている。なお、指定期間中は、配置換えによる変更は考えていない。

(永井委員)

青葉区と緑区の違いをどのように考えているのか。

(神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体)

青葉区は、駅前の開発等東急グループによる開発が進んでいる地域であるが、緑区は、駅前の開発はこれからであり、長津田駅前の再開発に対する期待の高さを認識している。

(名和田委員長)

指定管理料が他の区民文化センターと比較すると高めの設定となっているが、どのような理由か。

地域への働きかけが長津田地域に限定されている印象があるが、緑区内の他地域についてはどのように考えているか。

(神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体)

指定管理料については、区民文化センターごとに特性が違うので、緑区民文化センターとして細かく算定している。

他の地域への働きかけについては、各地区センター等と連携し、長津田以外の地域へも出向くようにしていきたい。

(名和田委員長)

他施設からアウトリーチ活動の要請があれば実施する等とあり、地域に自ら積極的に出向くという感じがせず、待ちの姿勢が感じられる。例えば授産施設との連携とはどのようなことを考えているのか。

(神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体)

授産施設に対してポスティング業務の依頼を検討している。

ウ 京急グループ共同企業体

団体から、団体概要及び事業計画等について説明。

・ 質疑応答

(間瀬委員)

スタッフの具体的な名前の記載がないが、人員の配置計画はどうなっているのか。

館長等の配置換えについては、どう考えているか。

(京急グループ共同企業体)

スタッフの配置に関しては、それぞれの構成団体の人事異動によるため、現段階ではお知らせできない。

館長は、基本的に指定管理期間中は固定させたい。ただし各責任者のうち若手の場合は、異動の可能性はある。

(岸本委員)

オープニングイベント等での集客手法はどう考えているか。

(京急グループ共同企業体)

著名な方を呼んだ場合、集客は見込めるが定着は見込めないと考える。地道に地域に根ざした事業を展開していきたい。

(井上委員)

子育て支援や子供向けの事業が多いが実現可能か。

(京急グループ共同企業体)

港南区民文化センターで実践しているリハーサル室のタイルカーペット化を考えている。これにより、親子参加型のワークショップも展開できる。

(永井委員)

[構成団体の直近決算について質疑応答]

(名和田委員長)

緑区内の他施設との連携に関して、具体的にイメージしていることはあるか。

館長、副館長職はどのような人が望ましいと考えるか。

(京急グループ共同企業体)

港南区民文化センターでは、アウトリーチ活動として区内の地域ケアプラザと連携し、出前講座を実施してきた。また、地域の文化に関係する人材をデータベース化し、アウトリーチ活動に活かしてきた。これらのことを緑区でも実施したい。

館長に関しては、地域の方々の意見や様々な世代の意見を聞くことができる実務者を配置したいと考えている。

エ 横浜アーティスト共同事業体

団体から、団体概要及び事業計画等について説明。

・ 質疑応答

(間瀬委員)

付帯設備のセット料金設定について、具体的な内容を教えて欲しい。

人員体制が時間帯によって4人と少ない時間帯もあるが、危機管理体制はどう考えているのか。

(横浜アーティスト共同事業体)

部屋や事業内容に応じて、利用が多い付帯設備を基本的なセットとして提供することで、利用しやすく、わかりやすくなると考えている。

危機管理体制は、日常的に役割分担をしっかりと決めておけば問題はないと考える。

(岸本委員)

著名人によるクラシックコンサートや落語家による寄席興行等の記載があるが、どのような内容を考えているのか。

(横浜アーティスト共同事業体)

緑区民文化センターの認知度を向上させるために、著名な人を招きたいと考えている。この場合、個々の興行的には赤字となってしまうが、トータル的に採算が取れるように考えていきたい。

(井上委員)

地域との関わり合いについてどのように考えているのか。

(横浜アーティスト共同事業体)

お客様をホールで待つという姿勢ではなく、地域で活動している団体に出向き、協働して事業を実施するなど、地域とのコミュニケーションを深めていきたいと考える。

(永井委員)

[構成団体の損益計算書に関する質疑応答]

(名和田委員長)

共同事業体の純益を収入項目として計上しているが、公の施設の指定管理制度の趣旨からいって適当ではないのではないかと。

利用料金収入の予算額がかなり高いように思うが、客観的な根拠があるのか。

(横浜アーティスト共同事業体)

民間により運営していく以上、利益が0という訳にはいかないのでは記載した。

他区の区民文化センターの稼働率は概ね60%~80%となっているので、緑区民文化センターも同程度で推移するのではないかと考える。特に緑区民文化センターは、交通の要所である長津田に立地し、立地条件は非常に良いことから、稼働率も高めの数値を見込んで利用料金収入を積算している。

(名和田委員長)

長津田は交通の要所ではあるが、緑区のはずれに位置しており、区内で長津田までのアクセスの悪い地域もあるが、地域に向く具体的なイメージはあるか。

(横浜アーティスト共同事業体)

緑区民文化センターの周知を図るために著名人を招きたい。区内で活動している演奏家等にもアプローチし、駅コンや公共施設でのコンサート等、連携していければと考えている。

(名和田委員長)

館長は、どのような人が望ましいと考えるか。

(横浜アーティスト共同事業体)

文化事業を実施していくことから、イベント等事業を作ってきた実務者が望ましいと考える。

(間瀬委員)

区民文化センターは、区民に対してどのような役割を担っているものだと考えるか。

また、館長の指定管理期間中の配置換えはどう考えるか。

(横浜アーティスト共同事業体)

区民文化センターは、区民の文化活動ができる場であると考えている。

館長については、指定管理期間中は変更するつもりはない。

オ JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体

団体から、団体概要及び事業計画等について説明。

・ 質疑応答

(井上委員)

交通のアクセスが不便な地域への取組はどのように考えているか。また、区民文化センターの運営にあたり、どのように地域の協力を得ていくのか。

長津田地区は、歴史的文化施設が多いが、これらを組み合わせた事業を何か考えているか。

(JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体)

緑区内を周り地域調査を行ったが遠方の地域に関しては、こちらから出向いて事業を行うことも可能と考えている。地域の中に入っていくことで、信頼を得て事業を円滑に進めることができると考える。

長津田も含めた緑区の歴史に関しては、まだ理解が深まっていないが、提案している「緑区魅力発見事業」などを通して、地域の方々と一緒に勉強していきたいと思う。

(間瀬委員)

法定の電気設備点検による全館停電日を、通常年1回のところ、3年に1回としているが、問題がないのか。

館長等の指定管理期間中の配置換えは、どう考えるのか。

(JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体)

できる限り休館はしないつもりである。電気設備点検については、絶縁監視装置を設置することで、点検を3年に1回とすることを関東電気保安協会に確認済である。

館長等の指定管理期間中の異動はあり得る。一つの施設で地域の方々とコミュニケーションを深めていくことも重要であると考え、異動により、多くの施設の運営を経験させることで、それぞれの施設の色々な良い視点を取り込むことができ、トータルのには、異動によるプラス面が大きいと考える。

(岸本委員)

他の文化施設との差別化をどのように図っていくのか。

(JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体)

例えば、青葉区のフィリアホールは、鑑賞施設である。そこで、緑区民文化センターは、緑区の文化芸術の拠点として、区民と一緒に事業を行ったり、アウトリーチ活動等を通じて区民の方々と一緒に緑区の文化を作り上げていきたい。

(永井委員)

[構成団体の貸借対照表に関する質疑応答]

(名和田委員長)

館長や副館長には、どのような人が望ましいと考えるか。

地域に出ていくというイメージがどのようなものであるかを知る意味で、地区センターとはどのような施設かを説明してほしい。また、区民文化センターのアウトリーチ活動時の地区センターの役割をどのように考えているか。

(JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体)

館長は、大勢のスタッフを取りまとめる組織マネジメント能力が重要であると考え。副館長には文化事業の専門知識を持ち合わせている者を配置する予定であり、将来は館長になるよう育成したい。

緑区の地区センターは、各団体が活発に色々な活動をしているイメージがあるが、その活動にヨコの広がりがあればより良いものになるのではないかと考える。

アウトリーチ活動は、各地区センターとネットワークを組んでいかないと難しいと考えている。地区センターからの情報収集や地域との連携機能を期待していきたい。

カ みどりアートコミュニティ

団体から、団体概要及び事業計画等について説明。

・ 質疑応答

(井上委員)

区民文化センターから離れた地域でも、親しまれる施設にするための方策はどう考えているのか。

(みどりアートコミュニティ)

「区文キャラバン隊」を作り、地域へ出向いてデリバリー公演やワークショップを行うことを計画している。

(岸本委員)

「第5世代」の区民文化センターを目指し、アートによるまちづくりとしてコーラスを軸に展開していくという提案は、明確な企画とを感じるが、緑区民文化センターの周知方法として、鑑賞事業として著名人を呼ぶ公演についてどう考えるか。

(みどりアートコミュニティ)

コーラスに関しては、有名なグループを呼ぶことも考えているが、単発の公演だけでは終わらない次につながるグループの公演を行っていきたい。

(間瀬委員)

ポイントカードの導入について、その運用の考え方を教えてほしい。

また、利用者会議の開催を、具体的にどのような形で考えているのか。

県のホールと区民文化センターの役割の違いについてどのように考えているのか。

(みどりアートコミュニティ)

ポイントカードについては、既に他施設でも実施しているが、リピーター確保が目的のため、会議室の利用者がメインとなると考える。ポイントにより、付帯設備を無料にする等柔軟に考えていきたい。なお、このサービスの実施により、利用料金収入は8%くらい落ちる見込みである。

利用者会議については、開館準備の段階で様々な地域の方々とふれあう中で決めていき、メンバーに関しては、開館後も公募により追加していく等柔軟に対応していきたい。

区民文化センターは、規模が小さい分、利用者の顔が見える形での運営、地域ニーズを組み入れた運営が必要となる。第5世代の利用者が主役である文化施設として、区民の意向を汲みながら、アーティストと区民とをつないでいくのが、区民文化センターとしての役割ではないかと考える。

(間瀬委員)

館長等の人員の配置換えはどう考えているのか。

(みどりアートコミュニティ)

正社員の場合、3～5年周期で人事異動はあり得る。

館長、副館長、防災顧問に関しては、正社員とは別の雇用形態とし、指定管理期間中は異動させないつもりである。

また、舞台技術担当者に関しては、地元に関わり合いのある者の配置を予定している。

(永井委員)

長津田から離れている地域の方々へは、どのように周知していくつもりか。

(みどりアートコミュニティ)

「区文キャラバン隊」を組織し、地域に出向いて駅コン等で地域と連携しながら、アウトリーチ活動やワークショップを行っていきたい。こうした活動を通じて、区民文化センターに興味をもってもらい、足を運んでもらえるのではないかと考える。

(名和田委員長)

休館日が少ないように思えるが、施設点検の観点で支障はないのか。

館長や副館長には、どのような人が望ましいと考えるか。

(みどりアートコミュニティ)

横浜駅の商業施設のビルメンテナンス等、休館日がほとんど無いで点検等を実施しており、経験値はある。年2回の休館は、電気設備点検による停電や消防設備点検のためのやむを得ないものである。日常的な点検は、エリア休館で対応できると考えている。

館長としては、施設管理面に偏らず、地域との交わりを重視し、事業の企画経験の豊富な者を予定している。副館長は、実務経験者でマネジメント能力に長けた者の配置を考えている。

2 指定候補者及び次点候補者の決定についての調査審議

(1) 各団体に対する評価

ア 株式会社スペースネットワーク

緑区の地域特性に対する理解が不足しており、文化の拠点・文化振興を担う区民文化センターの文化事業としては、内容の薄い提案だった。

また、アウトリーチ活動等により地域に出向くには人員が不足しており、その内容も待ちの姿勢が感じられた。

その他、大きく収入を見込んでいるアートカフェの事業は、現場の状況を踏まえた提案となっておらず、提案内容も具体性に欠けるとの指摘

があった。

イ 神奈川共立・東急コミュニティー・土志田建設共同事業体

代表団体は、横浜市内の他区において、複数の区民文化センターの指定管理実績があり、事業や施設管理について実績に裏打ちされた提案内容だった。また、学生のインターンシップの受入れに積極的な点は、文化芸術に精通した人材を育成する姿勢として評価された。

その一方で、長津田周辺を中心とした提案となっていて、区内他地域へ働きかける視点に欠けていた。

また、面接審査時においては、緑区の文化や芸術について理解が十分ではないことを伺わせる場面が見受けられた。また、アウトリーチ活動等で地域に出向く姿勢は、積極性が感じられなかったという指摘もあった。

ウ 京急グループ共同企業体

港南区民文化センターでの指定管理実績があり、その実績を踏まえた堅実な提案だった。また、一過性で施設の利用者定着にはつながりにくい著名人による事業を避けて、「アートプログラム」を中心とした質の高い事業を提供していこうとする姿勢が評価された。

その一方で、文化事業の内容は若干新鮮味に欠けるという意見もあった。

館長等人員体制が他の応募団体と比較して具体性がない点についての指摘もあった。

エ 横浜アーティスト共同事業体

横浜市内でホール管理の実績もあり、施設管理面では安心できる内容だった。

その一方で、区民文化センターにとって重要な文化事業に関する提案がイベント的で、地域の文化振興への拡がりに不安を感じさせた。

収支予算面でも、高めの利用料金収入を見込んでいて、実現性を疑問視する意見もあった。

全体的に施設管理が中心の提案内容となっていた。

オ JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体

防災対応を始め、施設管理面では、構成団体が他区の区民文化センターの施設管理を行っている実績をふまえ、安心できる内容だった。文化事業のネーミングも良く、周知に効果的との意見もあった。

その一方で、緑区の地域特性については、調査されていたものの、その文化や歴史について理解が不足していた部分もあった。

また、アウトリーチ活動等文化事業の提案に具体性が乏しく、地域展開に関して説得力に欠ける点が見受けられた。

その他、区民文化センターという地域文化施設の規模・特性とやや合わない提案だったとの意見もあった。

	<p>カ みどりアートコミュニティ</p> <p>「第5世代の区民文化センター」をテーマに掲げるなど、基本方針において先を見据えた問題意識を持っている点が高く評価された。</p> <p>事業については、緑区の文化や歴史等の地域特性をふまえた具体的な提案があり、面接審査では、館長予定者の方の緑区に対する理解が深いことが感じられた。</p> <p>地域へ出向く姿勢も「区文キャラバン隊」を組織し、アウトリーチ活動を行っていくなど、他の団体と比較して具体性・積極性があり、文化事業の地域展開力にも期待が持てる。</p> <p>責任者の配置についても、異動の考え方が明確で、舞台に造詣と経験のある人材を確保しているなど、安定した運営体制が期待できる提案だった。</p> <p>(2) 指定候補者、次点候補者について</p> <p>各委員の採点を集計した結果、次のとおりとなった。</p> <p>1位 みどりアートコミュニティ 426点</p> <p>2位 京急グループ共同企業体 380点</p> <p>緑区民文化センターの指定候補者としてみどりアートコミュニティ、次点候補者として京急グループ共同企業体を緑区長へ報告することとした。</p>
資 料	<p>1 平成24年度第3回横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会次第</p> <p>2 委員会スケジュール</p> <p>3 緑区民文化センター指定管理者応募団体評点表</p> <p>4 横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱</p>